



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより

平成24年7月31日 発行

■発行

石川県宝達志水町議会

〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL(0767)29-8310 (直通)

FAX(0767)29-4623

■編集

宝達志水町議会

広報編集特別委員会

第29号



南部保育所プール開き

主な記事



■24年第2回定例会2

■一般質問（6名）.....4

■委員会ノート7

■視察報告書8

■町議会日誌10

平成24年 第2回

定例会

6月12日~18日

一般会計 1億2,887万9千円を追加

道路整備事業費、コミュニティ施設整備事業費など



◎予算関係

- 一般会計補正予算(第1号)
 - 歳入歳出それぞれに1億2887万9千円を増額するもの。
- 主な歳入**
 - ・分担金及び負担金 128万円
 - ・土木事業負担金 (土木事業負担金) 3650万円
 - ・国庫支出金 (社会資本整備総合交付金など) 710万2千円
 - ・県支出金 (子ども手当システム改修事業費補助金など) 2945万2千円
 - ・繰越金 (前年度繰越金) 3604万5千円
 - ・諸収入 (コミュニティ助成事業助成金など) 1850万円
 - ・町債 (道路橋りょう整備事業債へ一般分) 1850万円
- 主な歳出**
 - ・総務費 3218万9千円 (コミュニティ施設整備事業費など)
 - ・民生費 636万6千円 (子ども手当取扱事務費など)
 - ・農林水産業費 182万6千円 (ふるさと振興事業費など)
 - ・商工費 1653万円 (商工業貸付金・利子補給事業費など)
 - ・土木費 6004万7千円 (道路整備事業費など)
 - ・消防費 94万5千円 (消防施設整備事業費)
 - ・教育費 298万8千円 (地域生涯学習事業費など)
 - ・災害復旧費 798万8千円 (林業施設災害復旧費) [全員賛成]

◎条例及びその他関係

- 宝達志水町印鑑条例の一部を改正する条例 [全員賛成]
- 宝達志水町住民投票条例の一部を改正する条例 [全員賛成]
- 宝達志水町手数料条例の一部を改正する条例 [全員賛成]
- 宝達志水町税条例の一部を改正する条例 [賛成11人、反対1人]
- 宝達志水町民センター設置及び管理条例の一部を改正する条例 [全員賛成]
- 宝達志水町担い手センター条例を廃止する条例 [全員賛成]



宝達志水町吉野屋地区担い手センター

○石川県後期高齢者医療
広域連合規約の変更
〔全員賛成〕

◎平成23年度補正予算関
係〔専決〕

○一般会計補正予算(第
7号)

〔賛成11人、反対1人〕
○国民健康保険特別会計
補正予算(第3号)
〔全員賛成〕

○後期高齢者医療特別会
計補正予算(第1号)
〔全員賛成〕

○介護保険特別会計補正
予算(第4号)
〔全員賛成〕

○ケーブルテレビ事業特
別会計補正予算(第3
号)
〔全員賛成〕

◎条例〔専決〕

○宝達志水町税条例の一
部を改正する条例
〔全員賛成〕

○宝達志水町国民健康保
険税条例の一部を改正
する条例
〔全員賛成〕

◎報告案件

○平成23年度一般会計予
算繰越明許費繰越計算
書の報告

○平成23年度一般会計予
算事故繰越し繰越計算
書の報告

○宝達志水町土地開発公
社の経営状況

○第2次宝達志水町障害
者計画の策定



◎請願

○T P Pに関する請願書
〔採択〕

○志賀原発を再稼働させ
ることなく、廃炉にす
るよう、国への意見書
提出を求める請願書
〔不採択〕

◎議会議案

○環太平洋経済連携協定
(T P P) 交渉への参
加判断に関する意見書
〔全員賛成〕

○議員派遣の件について
〔賛成10人、反対2人〕

環太平洋経済連携協定(T P P) 交渉への 参加判断に関する意見書

議案提出者 土上 猛 議員

野田総理は、昨年11月のアジア太平洋経済協力会議(A P E C)首脳会議において、環太平洋経済連携協定(T P P)交渉参加に向けて、関係国と協議に入ることを表明した。

これまでT P P交渉参加については、「国益上守るべき具体的な内容や水準が曖昧なこと」や「国の形が変わりかねない重大な問題にもかかわらず、情報不足により国民的議論がなされていないこと」等から、拙速な参加表明に慎重を求める声が増しに高まっている。

さらに、当町を含め8割の都道府県・市町村議会で交渉参加反対の意見書が採択されたことや、全国で1,166万人を超える交渉参加反対の署名が提出されたこと、356名にのぼる国会議員が交渉参加への反対を求める請願書に署名されたこと等にもかかわらず、今回の事実上の参加表明は、極めて遺憾である。

よって、本議会の総意として、T P P交渉への正式参加の判断に関して下記のとおり強く要望する。

記

- 1 国民的議論が熟すよう、政府が持つ詳細な情報を迅速かつ正確に開示すること。
- 2 T P Pへの参加は、国内農林水産業への壊滅的打撃に止まらず、地域経済や国民生活全般に重大な影響を及ぼす恐れがあることから、交渉への正式参加を行わないこと。

第2回臨時会

5月8日

◎人事案件

○教育委員会委員の任命
について

勝二信隆氏(紺屋町)
〔任期〕

平成24年5月10日
平成28年5月9日
(再任)

◎平成23年度補正予算関
係〔専決〕

○一般会計補正予算(第
6号)

公立羽咋病院負担金
(緊急防災分)
〔全員賛成〕

質問 いっばん

放射能測定器の購入計画は

町長
地域防災計画策定にあわせ整備検討



土上 猛 議員

問
①放射能調査について。
②節電計画について。

答
町長

①県では平成23年6月30日と7月1日の両日に、県内19市町で放射線の測定を実施。本町では役場前で測定した結果、異常な数値ではなかった。

放射能の測定機器は、宝達志水消防署で保有。町内の小中学校には簡易な線量計が配備されているが、本町では緊急時資器材としての、本格的な放射線測定器は所有していない。今後、地域防災計画の原子力防災編の策定にあわせ、整備を検討したい。

県の本年度予算に10kmから30kmの範囲にモニターリングポストを15基設置する予算が計上されていると聞いている。本町にも設置していただくと期待し、早期設置に向けて要望活動を行いたい。



β線用サーベイメーター (上)
とポケット線量計 (下)

②町の節電計画として、町有施設の空調、照明、機器、設備の4項目に区別し、職員一人一人が節電意識を持つて積極的に取り組んでいる。また、本年度、改修予定の役場庁舎の空調設備は、環境や節電に配慮しながら、省エネ率の高い機器の導入を進めたい。

答
環境安全課長

①宝達志水消防署では、表面汚染測定に用いるβ線用サーベイメーター1台と、消防隊員の被ばく量の確認に使用するポケット線量計2台が配備されている。

保育所の指定管理者制度 導入の方向性は

町長
全保育所に導入、将来的には民設民営化へ



柴田 捷 議員

問
①保育所の指定管理者制度導入について。
②統合中学校の建設について。

答
町長

①効率的で効果的な保育所運営を行うため、保育所の統廃合を進めるとともに、将来的に保育所運営の民設民営化に移行する計画を進めている。

平成25年度から3年間の予定で、町の全保育所に、町社会福祉協議会を指定管理者としての指定管理者制度を導入。いわゆる公設民営化に取り組み、保護者や地域の方の民営化に対する機運の醸成と環境整備を図りたい。指定管理の後には、民設民営化のため、同協議会に保育所を譲与することを考えている。

②建物は、東日本大震災の震度7クラスの地震にも耐えることができ、その地震による津波にも耐

えうる学校施設の建設を計画。また、河川の氾濫等においても、その水害に耐えうる計画である。

答
健康福祉課長

①全保育所に一括して指定管理者制度を導入する理由は、一部のみに導入すると、臨時職員の雇用や処遇に格差が生じてしまうこと。また、いずれの保育所においても同様、同等の保育サービスを提供するには、みな同じ条件でないと保護者に不安・不公平感を与えてしまうことが危惧されるため。



南部保育所

町政を問う



金田之治 議員

志雄パーキングに インターチェンジを

町長

建設は慎重に見極めなければならない

新たにインターチェンジを建設した場合、効果が期待できることは充分承知しているが、追加のインターチェンジの整備費用は地元が負担することが前提と聞いており、財政状況が大変厳しい本

町外に約9kmあり、この間に今浜インター及び米出インター、千里浜インター、南側には羽咋市の県立看護大インターが整備されている。県立看護大インターの建設費は7億円と聞いている。

能登有料道路が、平成25年4月1日から無料化になることに伴い、通勤時間の短縮など様々な効果が期待されている。

問
志雄パーキングエリアのフルインターチェンジ化について。

答 町長



志雄パーキングエリア

町においての建設は、慎重に見極めなければならないと考えている。時間を要することを理解いただきたい。



寶達典久 議員

原発の再稼働について

町長

地域住民の安全確保が最も重要

原発の再稼働は、原子力政策は国策であり、大飯原発（福井県）に対する意見を申し上げる立場ではない。志賀原発の再稼働は、立地自治体の志賀町と石川県の同意が必要。現段階は、1号機2

旨の回答をしている。原発の再稼働は、原子力政策は国策であり、大飯原発（福井県）に対する意見を申し上げる立場ではない。志賀原発の再稼働は、立地自治体の志賀町と石川県の同意が必要。現段階は、1号機2

①原発に関し、新聞・テレビ局から4件のアンケート依頼があり、主な内容は、原発再稼働に対する意見を求めたもの。「原発政策は、エネルギー政策の国策の一つであり、再稼働するには立地自治体の意向が重要であるが、羽咋郡市広域圏でも考えるべきであり、何よりも地域住民の安全確保が最も重要である」旨の回答をしている。

問
① 原発に関する政策の公表と再稼働問題について。
② ケーブルテレビ事業について。

答 町長

号機とも停止中であり、ストレステストを実施し、その結果を原子力安全・保安院に提出している。

② インターネット放送局は、ブロードバンド化の進展に伴い、動画の配信や閲覧環境が整備されたことから、全国の自治体でも通常のウェブサイトにプラスして、開設するところが増えている。テレビ放送を、いつでも見たいときに見ることができ、従来のテレビ広報番組の非視聴者層をターゲットにできるので、活用が期待されている。

今後、このインターネット放送局にかかる投資額のほか、ケーブルテレビ網や編集業務職員の配置問題などを含めた総合的な観点から、メリット、デメリットを調査したうえで、導入の方向性を検討したい。

今後、このインターネット放送局にかかる投資額のほか、ケーブルテレビ網や編集業務職員の配置問題などを含めた総合的な観点から、メリット、デメリットを調査したうえで、導入の方向性を検討したい。

ゴミの分別方法が 地区によりちがうのでは

環境安全課長 統一された分別方法を説明する



久保喜六 議員

問
環境、ゴミ対策について。

答 環境安全課長

ゴミの分別区分は、各家庭に配布してある羽咋郡市広域圏事務組合発行の「家庭ごみの分け方、出し方、減らし方」に基づき、羽咋郡市内で統一されており、羽咋市より厳しいということはない。空き缶はスチール缶とアルミ缶を分けなくてもいいと案内しているが、一部の集落で分けていると聞いている。広報やホームページを利用して分別方法について説明する。

生ゴミ堆肥化容器（コンポスト）の設置推進は、以前は助成していたが、事業効果が見込めないことから、行財政改革の一環として平成19年度に事業を廃止。
保育所・小中学校には、コンポストは設置されて

いない。生ゴミ減量化の取組として、給食では残材調査が実施され、生ゴミを極力減らすための工夫が行われている。

今後、更なるゴミの減量化、処理費の削減を進めるには、処理経費のうち多くが水分除去に使う燃料費であり、水分含有量を45%から35%まで下げることができれば、羽咋郡市で年間処理経費を1千3百万円程度、削減することが可能であるといわれており、生ゴミの水切り徹底が重要と考えている。



空き缶やペットボトル等の分別

図書館の統廃合は

町長 押水図書館に代え、統合中学校図書室を利用



小島昌治 議員

問
① 学校及び町立図書館について。
② 志賀原発を取り巻く環境と住民の安全を守るために。
③ 議会の海外視察について。
④ 地域経済活性化について。

答 町長

① 町行財政改革による公共施設統廃合計画に基づき、図書館を例外とせず、統廃合対象として進めたいかなければならない。町図書館の在り方は、統合中学校に設置される図書室を、押水図書館に代わる「知の拠点」として利用いただくことを今後



押水図書館

進めていく。

② 「脱原発をめざす首長会議」は、北陸三県の市町は何処も加入していない。近隣市町の動向を見ながら、よく検討する必要があるが現時点での加入は考えていない。
③ 外国における産業や文化、経済などに関する行政視察は、議会活動の能力を高めるうえで重要と考えており、今後の議会活動に活かされると思う。私が参加する意義は、自ら見聞を広げ、少しでも行政運営に役立てることにある。
④ 住宅リフォーム助成の実施は予定していない。

答 学校教育課長

① 小中学校において司書の配置は行っていない。来年度、町全体としての配置計画を立て、司書資格を有している者の配置を進めていきたい。

委員会ノート

第2回定例会会期中の審査内容

総務産業建設常任委員会

問 林道大葉谷支線の災害復旧は、補助災害にはならないのか。

答 雪解け水が原因。災害認定となる雨量には足らず、補助災害とはならない。



林道大葉谷支線の被災箇所

問 町税条例の一部改正において、町民税等の税率を引き上げないといけないのか。

答 地方税法の一部改正を受けてのもの。個人町民税の均等割税率引き上げに伴い年間345万円。たばこ税の税率引き上げにより年間750万円の増収が見込まれる。

問 有休休暇や代休があまり取れない状況が見受けられる中、時間外勤務手当を適切に支給すべきでは。

答 24年度予算では、各課で必要額を予算措置。有休休暇や代休の消化を踏まえ、適切な執行に努めたい。

問 23年度のゴルフ場利用税交付金が、増えた要因は。

答 利用者数の増と思われる。

問 空き家調査では、空き家の管理状況、老朽化に伴う倒壊状況という

ことも調査しているのか。

答 住めるかどうかを目視で調査。住める物件については、賃借や売買等の意思確認を行った。古い空き家の管理等は、この調査では行っていない。

問 23年度除雪体制における除雪機器の台数は。

答 町で保有・貸与したものと委託業者のものを合わせ53台で実施。

問 入札において、除雪実施業者という条件を設けているのか。

答 指名競争入札の際、業者選考にて配慮。

問 宝達川改修促進期成同盟会は、どのような活動をしているのか。

答 関係集落と協議し、再結成の立ち上げを検討したい。

問 河川愛護での集落から

の要望は。

答 要望を取りまとめ中。まとまり次第、県に要望する。内容は中洲除去の要望が多い。

問 小さな集落での自主防災組織の結成は。

答 地理的に難しい集落もあるが、集落の連携で自主防災組織が結成できるよう指導をしていきたい。

教育厚生常任委員会

問 外国人登録法等が廃止され、住民基本台帳に記載される理由は。

答 住民基本台帳制度の一本化が図られ、外国人住民の方の便宜を図るのが目的。

問 安心生活創造事業費の減額内容は。

答 利用件数が少なかった。事業のPR、周知徹底

が十分でなかった。

問 利用件数の実績は。

答 5世帯を見込んでいたが、3世帯が利用。

問 出産育児一時金等繰出金の減額は。

答 出生数が少なかったため。

問 放課後児童クラブ運営事業費における賃金の減額は。

答 指導員の1人が体調を崩し、週2日の勤務となったため。

問 国民健康保険事業のレセプト点検の件数及び対応は。

答 年間約500件から600件を審査。臨時職員1人で対応している。

問 町障害者計画で、社会参加の促進がある。雇用率が決まっていると思うが、行政機関として満たしているのか。

答 クリアしている。



押水児童クラブ

アルバイトの雇用もなかったため。

問 衛生費の減額が大きかったのは。

答 予防接種が主なもの。定期の予防接種は予算どおり執行されたが、任意の予防接種の接種率が低かったため。

問 民生費の減額の主なものは。

答 給付事業が大半。年度途中で不足しないように予算計上。実績により減額した。

問 国民健康保険事業のレセプト点検の件数及び対応は。

答 年間約500件から600件を審査。臨時職員1人で対応している。

問 町障害者計画で、社会参加の促進がある。雇用率が決まっていると思うが、行政機関として満たしているのか。

答 クリアしている。

問 保育所費の臨時職員賃金の減額内容は。

答 臨時保育士が2人退職。また年度内におけるア

視察報告書

議会行政視察

6月27日
～30日

台湾の農業、観光、エネルギー事情

石川県出身である八田與一技師の台湾における農業水利事業の功績をたどりつつ、現地でも触れて得たことを、今後の行政運営に役立てようと実施しました。

台北桃園空港へは小松空港からの直行便を使用。小松空港国際定期便の利用促進目的であるが、台北市内のホテル到着が23時（日本時間24時）と遅く、出発時刻の変更を望む。それでも利用客が多く週4便を1便増やすとのこと。

台湾では中国人観光客への規制緩和が進み、入国許可数が一カ月に六万人まで増えているが、ツアー客が途中でいなく

なったり、金銭トラブルが発生するなど、中国人問題の対策に苦慮しているそうである。

国立故宮博物館を視察。ここは、中国の宋、元、明、清の四王朝を中心に、約65万点を所蔵し、玉器、彫刻、青銅器、陶磁器など約2万点を展示している。館内ではグループ専用のワイヤレスマイクとヘッドホン

を貸し出し、それぞれの国の言葉でガイドが

できるようになっていいる。昨年の入場者数は約385万人とアジアではもつとも多く、分散化のために台南での展示施設建設を検討しているそうである。

次の視察地である烏山頭ダムへ向かうため、台湾高速鉄道の台北駅・嘉義駅間を利用する。

台湾高速鉄道は、2007年に開業し、現在は台北市・台北駅から高雄市・左営駅までの345kmを最高時速300km、

最速約1時間30分で結んでいる。これに伴い国内線航空機は撤退し、人の流れが大きく変わったそうである。北陸新幹線の開業にあつては、観光客の誘致対策が必要であると実感した。

八田與一氏が建設を監督した烏山頭ダムに到着。日本統治下時代に華南平原の農業灌漑を主目的に、工期は11年間、1930年に完成したものである。現在は周辺一帯を公園として整備しており、



八田記念公園にある八田與一宅前にて

休日には多くの人が訪れているそうである。

八田氏の功績を讃えるため昨年5月にオープンした八田記念公園を見学。ダム工事中の宿舎であった八田宅など4棟が再現されており、当時の生活環境を見ることができた。展示館では、八田技師の生涯や功績、ダム建設の資料が展示されている。八田技師記念館では、ダム建設当時の様子など映像により紹介する

とともに、資料も展示されている。

ダムの景色を眺められる一番高い所に、八田與一氏の銅像があり、作業服を着て、どんなダムを作ろうかと考えた姿で、その後八田夫妻の墓地があります。

台湾のテレビ局が取材に来ており、八田氏の功績の大きさを垣間見ることができた。次に、台湾最南端にある台湾電力公司第三原子



八田技師記念館での映像によるダムの歴史説明

力発電所の南部展示館を訪れた。

原発の理解を深めてもらうため、資料の展示、学習の場として建設された施設で、所長や係員から原発のしくみや台湾におけるエネルギー事情について説明を受けた。

第三原発は1984年

に発電を開始し、2基の原子炉の出力は各95万千瓦で、方式は加圧水型

で、福島第一原発や志賀原発とは違っている。1999年の台湾地震は震源が内陸で、大きなトラブルはなかったが、2000年に新政権が台湾第四原発の建設中止を提案し問題となつている。また、昨年の福島第一原発事故発生後には、稼働中の原発での安全対策やストレステストなど

が実施されているとのことである。

次に、台湾グリーンバリオパークを視察した。国の機関である行政院農業委員会が、台湾の農業におけるバイオテクノロジーによる農業の転換を促進し永続的発展を確保するため設置した施設で、将来的には、120社、6000人を見込んでいる。進出企業には優遇措置があることから、日本からも多くの企業が進出している。

また、施設内には従業者のための居住区域を設けるなど、環境整備にも取り組んでいる。

台湾農業は、3期作の米は余剰状態で、農地はウナギやエビの養殖、ヤシ栽培などの転作が行われており、こうした分野への技術革新にも大きく寄与しており、農業施策の参考になりました。

中学校建設特別委員会

新潟県 聖籠町立聖籠中学校

7月4日～5日

統合中学校の建設準備が進められている中、実施設計や合併前後の問題調査を目的に、当町と同じく2校を統合した聖籠中学校を視察した。

この学校は、平成13年4月に新潟県内では初めて「教科センター方式」を取り入れて開校した。

基本的な理念は、新しい校舎が町の教育改革、町の発展につながることで、地域の人々にとつての学校であること、多くの人が建設にかかわることであった。

こうして建設された学校には、教育施設は言うまでもなく、地域交流ゾーンの500人が一堂に集まれるカフェテリア（ランチルーム）は町民も利用でき、町民活動スペースも設けられ、敷地

内には学校の森も造られた。

建設場所を新たに町の中心で田んぼの真ん中としたため、進道路路整備が必要となり、また、全生徒の通学距離が6km以内で自転車通学とし、通学路整備も行った。

翌日は、地震対策について、小千谷市の「そなえ館」で学んだ。

教室は学級用と学科用があり、学科教室の前には教科ラウンジがあり、参考図書、パソコンを配置し、図書館まで行かなくても調べものができるようになっている。

統合にあつての行政や学校の取り組みなど、今後の事業推進に大いに参考となる事例であった。

翌日は、地震対策について、小千谷市の「そなえ館」で学んだ。



台湾電力公司・南部展示館での原子力発電のしくみの説明



聖籠中学校での渡邊町長からの説明

町議会議会誌

4月～6月

【4月】

- 5日 小学校・中学校入
学式
- 地域密着型特別養
護老人ホーム建設
工事地鎮祭
- 9日 宝達高等学校入学
式
- 10日 羽咋市町議会議長
広域圏事務組合議
会議長合同懇談会
- 11日 町民生・児童委員
協議会総会
- 15日 下呂市訪問
- 16日 議会運営委員会
- 20日 町体育協会総会
- 23日 宝達山開山祭
- 26日 議会改革特別委員
会
- 27日 例月出納検査



宝達山開山祭

【5月】

- 8日 議会運営委員会
- 11日 町議会臨時会
- 13日 町商工会通常総会・
優良従業員表彰式
- 16日 町土地発公社理事
会
- 21日 議会改革特別委員
会
- 25日 例月出納検査
- 28日 国道159号事業
概要説明会、建設
促進期成同盟会総
会
- 29日～30日 議長・副議長研修
会
- 30日 広域圏議会全員協
議会
- 31日 町議会全員協議会
- 24日 議会運営委員会
中学校建設特別委
員会
- 22日 子浦川水防事務組
合議会
- 22日 広域圏議会運営委
員会
- 24日 森林・林業・林産
業活性化推進石川
県議会議員連盟視
察受入
- 25日 宝達高校を支援す
る会理事会

【6月】

- 1日 自衛隊父兄会町支
部定期総会
- 8日 能登地区町議会連
絡会総会
- 9日 県原子力防災訓練
- 10日 健康まつり
- 12日 議会運営委員会
- 14日 町議会定例会開会
- 15日 総務産業建設常任
委員会
- 1日 自衛隊父兄会町支
部定期総会
- 8日 能登地区町議会連
絡会総会
- 9日 県原子力防災訓練
- 10日 健康まつり
- 12日 議会運営委員会
- 14日 町議会定例会開会
- 15日 総務産業建設常任
委員会



健康まつり

広報編集特別委員会
委員長 津田 勤
副委員長 林 一郎
委員 北 信幸
委員 宮本 満

- 16日 郡市消防団連合訓
練大会
- 17日 議長杯グラウンド
ゴルフ大会
- 18日 議会運営委員会
- 19日 町議会定例会再開
- 22日 能登空港利用促進
同盟会総会
- 23日 男女共同参画のつ
どい
- 25日 例月出納検査
- 27日～30日 議会行政視察

議会を傍聴しませんか

町民の皆さんに議会活動の内容を広く知っていただくために、議会の傍聴をお勧めします。傍聴する前に、議場入り口で、氏名、住所、年齢の記入をお願いします。

問い合わせ 議会事務局 TEL29-8310

